



獅子島汽船新旅客船「ししじま」命名・進水式 連携を密に安全運行を

7月9日、広島県尾道市で長島町獅子島幣串と熊本県水俣市を結ぶ新しい旅客船の命名・進水式が行われました。

当日は有限会社獅子島汽船や獅子島振興会、造船業者などの関係者ら約20人が参加しました。

式では、川添町長が船を「ししじま」と力強く命名し、獅子島汽船の須崎隆文代表取締役社長が「これから就航に向けて皆さんと連携を密にし、安全航行に向けて進みたい。関係者のご尽力に感謝します」とあいさつ。須崎代表の長男・敢太さん（獅子島中1年・写真左）が支網切断を行い、これからの運行の安全を体現するように船は、静かに、なめらかに進水しました。

「ししじま」は7月31日に本町へ運ばれ、8月23日にお披露目会が行われた後、就航する予定です。



蔵之元の町道渡釜線道路改良竣工式 児童と住民の安全に寄与

7月11日、町道渡釜線道路改良工事の竣工式が蔵之元小学校（中村敷校長・39人）入口近くの現地で行列、関係者や同校の児童ら合わせて約40人が出席しました。

同路線は、国道389号と交わる交差点から同校前を通過する路線で、道幅が狭く、歩道がなかったことから、交通安全対策（通路緊急対策）事業を通して歩道を設置し、幅を広げました。蔵之元自治公民館の二階堂館長は「児童の安全な登下校ができるようになり、住民にとっても生活の向上に寄与する。関係者に感謝したい」とあいさつしました。



町建友会が清掃ボランティア 長島夏の行楽地を楽しんで

7月2日、長島町建友会（宮脇徳仁会長）が、小浜海水浴場とあづま海水浴場周辺の清掃ボランティア活動を行いました。

同活動は毎年行われ、町のきれいな海岸を保つために、14社がボランティア作業に励みました。会員らは、海岸内と併せて周辺の道路や駐車場の整備を行い、伸びた樹の伐採や砂浜の美化作業に汗を流しました。宮脇会長は「訪れる人が長島の夏の行楽地を楽しみ、気持ち良く利用してもらえれば」と清掃ボランティアの意義を話しました。